家庭科　学習指導案

八尾市立龍華中学校

研究テーマ：学びへのスムースな導きと、学んだことを定着させ、深めるための授業

教科	家庭科	学年・組	第１学年４組	場所	２階　被服室
単元名	衣生活：布を用いた作品で生活を演出・衣服のはたらきと手入れ　（第２時／全７時）				
本時の目標	・ランチマットの製作を通し、安全なアイロンかけのポイントを考え、習得する。 ・日常生活のなかで、アイロンかけやまつり縫いの活用方法を考える。				
本時の評価規準	・アイロンかけの注意点を考え、体験する。 ・まつり縫いに粘り強く、丁寧にとりくみ、活用方法を考えている。 ・実習の準備や片づけ等に主体的に協力している。				

本時の判断基準	評価の観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	支援を要する生徒へのてだて
	知識・技能	アイロンかけのポイントを理解し、丁寧に実践している。丁寧なまつり縫いを習得している。	アイロンかけを注意しながら、実践している。 まつり縫いにチャレンジしている。	アイロンかけやまつり縫いの個別指導をする。
	思考・判断・表現	衣服の補修において、アイロンかけやまつり縫いの活用方法をグループで交流することができる。	日常生活のなかにまつり縫いが活用されている場面を想像する。	日常生活のなかでイメージできそうなことの声かけをする。
	主体的に学習に取り組む態度	グループで協力し、主体的に準備や実習、片づけにとりくんでいる。	指示を受けてから、とりくんでいる。	グループ内で実習がスムースに進むよう、対話の支援をする。

１．本時のめあてと、そのねらい

めあて	・安全なアイロンかけのポイントを考え、習得する。 ・日常生活のなかで、アイロンかけやまつり縫いの活用方法を考える。　【知識・技能獲得型】
ねらい *教材観、生徒観、指導観を含む	「アイロンかけ」や「まつり縫い」を日常生活に活用できるイメージをもてるようにする。 子どもたちの授業にとりくむ態度は、もち物をそろえてとりくむ子どもが多く意欲的。しかし、生活経験がかなり少ない子もいて、初めてのアイロンかけやまつり縫いにとりくむ子もいる。 そのようななかグループで協力し、ランチマットの完成をめざし、学校生活の給食の時間にも活用できる製作にとりくむ。

２．期待する振り返りの好例（めあてを踏まえて）

・アイロンかけは、しわを伸ばしたり、折りめをつけたりできて便利だと思った。今度、家でもシャツのアイロンかけをやってみたい。

・今度スカートのすそがほつれていたら、まつり縫いでなおしてみたいと思った。

３．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・安全に丁寧にアイロンかけができる。 ・まつり縫いを表面に針目が目立たないようにできている。	・アイロンかけやまつり縫いの活用方法を考え、グループ内で交流できている。 ・製作した物の工夫点を考える。	・生活を豊かにする物の製作において、最後までとりくんでいる。 ・グループで協力して、主体的に準備や片づけにとりくんでいる。

４．単元の指導と評価の計画

時	学習内容	評価の観点	時	学習内容	評価の観点
1	生活を豊かにする物の製作 （ランチマット裁断・アイロンかけ）	知・技 主	5	生活を豊かにする物の製作、工夫点 （ミシン縫い）	知・技 思・判・表
2 本時	補修や収納・保管 （アイロンかけ・まつり縫い）	知・技 主	6	生活を豊かにする物の製作、工夫点 （刺しゅう）	知・技 思・判・表
3	補修や収納・保管、工夫点の案 （まつり縫い）	知・技 思・判・表	7	生活を豊かにする物の製作、工夫点 （刺しゅう）	知・技 思・判・表
4	生活を豊かにする物の製作、工夫点 （ミシン縫い）	知・技 思・判・表			

５．本時の学習過程

	学習活動	◇指導上の留意点 〇理解の不十分な生徒への手立て	評価の観点 （評価方法）
めあて：日常生活のなかで、アイロンかけやまつり縫いの活用方法を考えてみよう。			
導入 （５分）	・出席、もち物の確認 ・前回と本時の流れ、めあての確認	・安全に実習ができるように意識づける。 ・実習内容が遅れている子への配慮	・もち物をそろえ、意欲的にとりくんでいるか。（主）
展開１ （１５分） 展開２ （２０分）	・アイロンかけの活用方法と使用上の注意点を確認する。 ・安全で丁寧なアイロンかけをする。 ・まつり縫いの活用方法を考える。 ・まつり縫いの針目が表面に目立たないようにする。	・事故、怪我のないように実習環境を整える。 ・実習に不安を感じている子への配慮 ・日常生活のなかで、布が用いられている場面が想像できるようにする。 ・まつり縫いの手順が分かりやすい教材の提示。	・安全で丁寧なアイロンかけになっているか。（知・技） ・まつり縫いの活用されている場面をグループで交流しているか。（思・判・表） ・丁寧なまつり縫いになっているか。（知・技）
まとめ （１０分）	・振り返り 衣服の補修において、アイロンかけやまつり縫いの活用方法について説明してみよう。	・安全にアイロンを使うことができたか。どのようなことに気をつけたか。 ・アイロンかけやまつり縫いの活用方法は、どのようなことと考えるか。	・安全なアイロンかけや丁寧なまつり縫いにチャレンジし感じたことや活用方法を自分なりの言葉で表現している。（思・判・表）